

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	通学路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	路線測量及び詳細設計・用地測量等を行う。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	市道1号線の予備設計及び市道12号線の用地補償を推進する。
②①に基づく取り組み結果	測量委託、詳細設計委託を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の児童生徒及び通学路	意図(対象をどうするのか)	児童生徒が安全に登下校できるようにする。
②事務事業の概要	児童・生徒が安全に通学できるよう、歩道のない通学路に歩道を整備し、登下校における安全性の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	通学路の拡幅や歩道確保をすることで、登下校時の通学路における児童生徒の安全を図る。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	市道1号線の路線測量と市道12号線の詳細設計を実施した。 (1)市道1号線路線測量委託(L=800m)、 (2)市道12号線詳細設計委託(L=100m、交差点設計)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	学校災害件数の割合		7.1	6.5	%	業務取得
	ii	事業費【平成24年度からの累計】		2,258	9,415	千円	決算書
	iii	工事延長【累計】		0	0	m	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	2,258	7,157	金額(千円)	内容	11,205		
	国支出金(千円)		3,129	市道1号線測量委託	1,980		
	県支出金(千円)		1,839	市道12号線詳細設計委託			
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	2,258	7,157		9,225		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	道路の拡幅等中長期的な時間を要する要望に対しては、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	多数の地権者と交渉し用地補償・工事を進める必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	通学路整備工事	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	測量委託、詳細設計委託	8,600	8,600	当初	8,600	7,157	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学校給食センター建替事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	3	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	宮崎 実			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	・専門事項は分科会等により関係各課と共に綿密な協議を実施する。 ・事業者と市内の連携を図り、関係各課との役割分担による効率的な事務の実施	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	平成25年度完了事業
②①に基づく取り組み結果	・運営準備のため、栄養士、給食担当課と事業者による協議会を定期・随時に開催した。 ・施設建設期間中は、週に一度の定例会議の参加や関係者協議に立会った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	2箇所の学校給食センター ・第一(昭和44年建設) ・第二(昭和53年建設)	意図(対象をどうするのか)	・施設設備をはじめ衛生面、安全性の改善と、学校給食の質の向上を財政効果を確保しつつ行う。
②事務事業の概要	安全で質の高い学校給食を今後も安定して提供していくため、老朽化し衛生基準等の問題を抱える二つの学校給食センターを、一つに統合して建替えを行い改善を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	・学校給食の合理化、多様化、安定提供並びに衛生面、調理面の安全性向上による児童生徒の健康と安全の確保 ・民間との協働での学校給食の質の向上、充実による新たな公共サービスの享受の期待			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	PFI方式による事業契約に基づき施設建設工事の完了を受け、施設を購入し、平成26年4月の開所に向け維持管理及び運営業務事業者と協議を行い稼働体制を整えた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	新センターの進捗率(工事)	0	3	100	%	
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	29,703	1,558,650	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)	0	377,075	23	消耗品費			
県支出金(千円)	0		420	PFIアドバイザー委託(債務負担行為)			
市債その他(千円)	15,000	1,178,000	2,791	用地借上料			
一般財源(千円)	14,703	3,575	1,555,339	学校給食センター施設購入費			

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新たな用地で一つに統合した学校給食センターに建て替える。衛生管理基準の適合と学校給食の質の向上、充実を図り、安全安心な学校給食を継続して提供する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	PFI方式の導入により民間のノウハウが活用された、給食の質の向上が期待される学校給食センター施設を確保した。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	・建設工事 ・PFIアドバイザー	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	新学校給食センター施設の購入	1,558,669	1,558,669	当初	1,558,669	H24からの繰越	1,555,339
				H24⇒25繰越	1,555,339		
③達成状況	完了			補正	-1,555,339	現年分	3,311
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)		0			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	通学路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	石井孝宜			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	通学路緊急合同点検の結果に基づいて、中長期的な対策箇所を除き、平成25年度中に改善策を講じる。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	学校からの通学路実態調査等を基に整備工事を行う。また、安全運転講習会などの啓発活動も積極的に取り組む。
②①に基づく取組み結果	通学路緊急合同点検の対策箇所68箇所の内、平成25年度末までで64箇所を改善。その他にも随時工事を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の児童生徒及び通学路	意図(対象をどうするのか)	児童生徒が安全に登下校できるようにする。
②事務事業の概要	通学路における安全施設の整備、安全指導や防犯活動を実施することにより、登下校時における児童生徒の安全確保を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	ドライバーへの注意喚起や歩行者のための安全施設を設置することで、登下校時の通学路における児童生徒の安全を図る。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	路面標示・警戒標識設置工事、カラー舗装工事、防護柵設置工事、滑り止め舗装工事、樹木伐採等を行い、登下校時における児童生徒の安全対策を図った。児童生徒への安全指導の一環として、小学校では自転車安全教室、中学校ではスクエアード・ストレイト自転車交通安全教室を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	学校災害件数の割合	7.7	7.1	6.5	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	19,796	30,747	金額(千円)		内容	20,572	
国支出金(千円)		11,400	28,279		通学路整備工事		
県支出金(千円)			1,258		樹木剪定委託		
市債その他(千円)			273		スクエアード・ストレイト自転車交通安全教室業務委託		
一般財源(千円)	19,796	19,347				20,572	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	信号設置や道路の拡幅等中長期的な時間を要する要望に対しては、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	緊急性を要する箇所(緊急合同点検箇所)を含め、順次対策工事を行った。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	通学路整備工事等	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	カラー舗装等の改善工事を行った。	28,600	32,500	当初	20,000	30,747	H24からの繰越	11,400
				H24⇒25繰越	12,500		現年分	19,347
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
				平成26年度への繰越額(単位:千円)				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	児童生徒安全パトロール事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	石井孝宜			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	25年度は巡回時間を4時間から5時間30分に変更。巡回箇所についても引き続き学校等と協議を行う。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	実情に合った安全パトロールをするため、巡回箇所については引き続き学校等と協議していく。
②①に基づく取り組み結果	巡回時間を延ばしたことで、巡回箇所の追加や最終下校時刻にも対応した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の児童生徒	意図(対象をどうするのか)	児童生徒のために安全な地域環境の維持を図る。
②事務事業の概要	児童生徒が犯罪に巻き込まれやすい時間帯である下校時から夕方までの間、犯罪から子どもを守り、安全な地域環境を確保することを目的に、パトロールを実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	パトロールによる犯罪の抑止を目的とし、児童生徒の安全を図っていく。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	継続的に広範囲のパトロールを実施することにより、児童生徒の安全対策を図った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	学校災害件数の割合	7.7	7.1	6.5	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	9,962	12,054	金額(千円)	内容		17,849	
国支出金(千円)			12,054	児童生徒安全パトロール委託			
県支出金(千円)	9,962	11,503					
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		551				17,849	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	下校時間帯の不審者情報も見られ、学校や青少年センターともしっかりと連携してパトロールする必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	児童生徒の登下校時の安全を維持していく上で、継続的に行っていく事業のため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	児童生徒の安全確保のためパトロールの実施。	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	巡回箇所の追加、要望に対応した。	16,258	16,258	当初	16,258	12,054	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学校給食センター管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	3	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	中田 政樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	現学校給食センターの施設設備の維持管理を行いつつ、新学校給食センターの平成26年度運営開始に向けて体制を整え、準備を行う。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	今年度より新形態となるため衛生管理は今後も徹底し安全な給食を提供していく。
②①に基づく取組み結果	新学校給食センター開業に向け維持運営の検討会を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	学校給食提供数	意図(対象をどうするのか)	給食実施日数
②事務事業の概要	学校給食施設の安全と衛生を維持し、学校給食の安定供給を図るため、調理場の施設、設備及び備品の維持管理を行う。			
③環境方針(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新学校給食センターの維持管理。また平成21年4月から施行された学校給食衛生管理基準の励行。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)調理場施設、設備及び備品の維持管理を実施し、学校給食の安定供給に努めた。 (2)第一・二学校給食センター施設等の修繕:排水処理装置修理・建物修繕・厨房設備・備品等修理ほか						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	給食実施日数	184	184	184	日	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	62,060	58,921	金額(千円)		内容		
国支出金(千円)			31,153		光熱水費(電気・水道・都市ガス)		
県支出金(千円)			7,730		燃料費(灯油・LPガス)		
市債その他(千円)			2,290		第一・二学校給食センター施設等修繕		
一般財源(千円)			1,680		排水処理装置維持管理委託		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成26年度からはPFI事業契約による学校給食センター運営において安全な給食の提供を図っていく。(当該事務事業は学校給食運営に要する経費の評価項目に変更)				
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	旧学校給食センター施設の有効活用の方針に至るまでの間、必要な施設管理を適切に行う必要がある。平成26年度は、「旧学校給食センター管理に要する経費」として事務事業評価を行う。				

※変更箇所「黄色セル」の青字部分

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		0
		H24→25繰越		
③達成状況		補正		H24からの繰越
④未完了・非着手の理由		流用・充当		現年分
		平成26年度への繰越額(単位:千円)		

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学校給食運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	3	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	中田 政樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	アレルギーマニュアルの作成につき協議を行う。 新学校給食センターの維持管理・運営につき協議を行う。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	食物アレルギーに対応した給食を実施する。
②①に基づく取組み結果	アレルギーマニュアルは完成に向け引き続き検討している。 新学校給食センター開業に向け維持運営の検討会を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	児童生徒数	意図(対象をどうするのか)	給食実施日数
②事務事業の概要	市内小中学校14校に対し、安全で魅力ある学校給食を安定的に提供し、児童生徒の健康増進を図るとともに、食に対する理解を深める。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	学校給食センター建替事業に伴い、運営方式が直営式からPFI式へ変更となった。食物アレルギー対応に関する意見要望があった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)小中学校に対し、年間184日、学校給食を提供した。 (2)給食調理食数(平成25年5月1日現在の児童、生徒、教職員数) 小学校5,688人、中学校2,844人、教職員521人 合計9,053人					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 給食実施日数	184	184	184	日	業務取得
	ii					
iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	560,617	560,960	金額(千円)	内容	848,358	
国支出金(千円)			77,118	非常勤職員賃金(調理・配膳)		
県支出金(千円)			447,062	原材料購入(米・パン・副食・牛乳)		
市債その他(千円)			27,570	給食運搬委託		
一般財源(千円)						

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	献立内容の充実及びアレルギーに対応した給食の提供に取り組むこと。				
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	今年度も継続していく事業内容である。				

※変更箇所「黄色セル」の青字部分

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		0
		H24→25繰越		
③達成状況		補正		H24からの繰越
④未完了・非着手の理由		流用・充当		現年分
		平成26年度への繰越額(単位:千円)		